

凜

Rin

Osaka Ohtani University

STUDENT INFORMATION MAGAZINE

vol.06
2017.10

巻頭特集 Feature 志学祭の裏側

大学祭実行委員会 委員長・副委員長に聞く

Activity report 活動報告 p.6

市民会議 Mira-ton

南大阪地域等大学合同展示発表会

富田林警察署防犯キャンペーン

Information インフォメーション p.7

バレーボール大会 奨学金 博物館秋季特別展

Pick UP! p.4

いきいき学生特集

女子ソフトボール部 主務

小坂 朱里

- ・主務の仕事
- ・きっかけは?
- ・学んだこと
- ・後輩へ一言



Pick UP! p.5

いきいき学生特集

Team Y.A.O.代表

朽尾 晃広

- ・ Team Y.A.O.
- ・ 活 動 内 容
- ・ 今 後 の 目 標
- ・ 後 輩 へ 一 言



巻頭特集

Feature 志学祭の裏側

大学祭実行委員会 委員長・副委員長に聞く

平島さんと三好さんは、85名ものメンバーが所属する大学祭実行委員会をまとめる委員長と副委員長。大学祭実行委員会はその名の通り、11月に開催される大阪大谷大学の大学祭「志学祭」の企画や運営を中心となって行う。毎週2回のミーティングで内容の共有や進捗の確認、テーマなどの話し合いが行われ、ポスターやパンフレット等の作成まで、大学祭運営における全てを担っていると言っても過言ではない。



◀ 委員長
人間社会学部人間社会学科 3年生
平島 直都

副委員長 ▶
教育学部教育学科 2年生
三好 和希



苦勞以上の達成感

今年の志学祭のテーマは「緑JOY!!」。地域や行政、来場者の方々との繋がり「緑」を大切に、楽しむ「JOY!!」。そんな想いが込められたテーマだ。

このテーマは毎回異なり、毎年、志学祭が終わった後、年が明けたくらいからすぐに次回に向けての話し合いが始まり、その年の4月には決定、新入生が入り次第すぐに準備を開始する。よって、活動は止まらないのだという。

そんな忙しい大学祭実行委員会のやりがいについて、2人はこう語る。

平島さん：「85人もの前で話す機会はなかなか無いし、それをまとめるのはすごく大変。だけど、リーダーシップは身につけてきていると思うし、何より達成感が大きい。楽しかった!とか、面白かった!といったお客さんの声を聞いたときが一番嬉しいですね。」

三好さん：「僕も達成感はすごく感じています。そして、活動に没頭して、時間が過ぎるのがとても早く感じます。あとはパンフレットの作成は初めてのことで苦勞も多かったし、地域活動のために行政の方とやりとりをするのも緊張したけど、どれも貴重な経験になりました。」

2017年志学祭3大目玉企画!

そんな2人が自信を持ってオススメする今年の志学祭の3大目玉企画がある。

まず1つ目は「防災企画」～巨大迷路で楽しく学ぼう～。大阪大谷大学が地域の避難所になったことがきっかけで学内の防災への意識が高まったこともあり、地域の子もたちや親御さんに親しみを持ってもらいつつ、防災について考えてもらおうと考えた今回初の企画。子どもたちが迷路に入り、途中で出される防災に関するクイズに答えながら進んでいくというもの。楽しみながら学べる内容になっている。

2つ目は、俳優の本郷奏多さんを招いてのトークショー。志学祭には毎回様々なタレントがゲストで招かれ、それを楽しみにしている学生やお客さんも多い。

この、誰を招くか?ということを考えるのも大学祭実行委員会の仕事。今年も誰にするか色々悩んだが、多くのドラマや映画にも出演し、今人気の俳優さんと呼ばれたことは大きかったのではないかと語る。

3つ目は「模擬店グランプリ」。毎年志学祭には多くの模擬店が出店される。今年は約30団体からの出展を予定しているそう。そんな模擬店に対して、来場していただいたお客



さんに投票してもらい、人気No.1を決めようと考えたのがこの企画。志学祭では、その他に移動動物園など毎回様々な企画があるが、このグランプリの開催でさらに盛り上げることができれば、と話す。

平島さん：「委員会みんなで新たな企画も考えました。学生だけでなく地域の方々も、皆さんに楽しんでいただければと思います!」

三好さん：「模擬店の数も増え、ますます盛り上がってます! 目指すはお客様数過去最高7千人超!ぜひ来てください!」

後輩へのメッセージ

平島さん：「まず、三好くんは来年委員長になると思うけど、幹部となる人が全員3年生だからちょっと大変かもしれない。同級生を頼りながら、支えてもらいながらがんばってください。」

それから、今後入学する後輩たちへは、歓迎会の紹介などを見て、何かやりたい、なんとなく興味がある、といった漠然とした気持ちでもいいから、まずはやってみてほしい。途中つらいことや嫌になることもあると思うが、それ以上にやりがいや学びは大きいから。」

三好さん：「来年は僕が委員長になると思うが、今の委員長と違ってパソコンが苦手なところがちょっと不安。同級生や後輩にも一緒に支えてもらえたら嬉しい。」

来年入学する後輩には、大学で何かしたいと思っている人や、面白いことが好きな人はぜひ一緒にやりましょうと伝えたい。また、授業以外で他の学生と会う機会というのは貴重で、仲間を増やすチャンスでもある。是非積極的に参加して欲しい。」

Pick UP! いきいき学生特集



みんなが常に快適に
全力でプレイできるように

女子ソフトボール部 主務

人間社会学部/スポーツ健康学科 4回生
小坂 朱里 コザカ アカリ



主務とは、試合には出ず、遠征や合宿などの交通、宿泊などの手配から書類の準備、提出、道具の管理といった事務が主な仕事で、時にはボール拾いやノックの補助、怪我のケアなどの選手のサポートも行います。選手が常に快適に、全力でプレイ出来るよう、みんなを支えたいと思っています。

私は元々、ずっと野球が好きで、中学校・高校でもソフトボール部に所属。大学でさらに強いチームに入ろうと入部しました。最初の2年間は選手としてプレーしていましたが、ある日怪我をしまい、試合に出ることが困難になりました。やめることも考えましたが、やはり好きなソフトボールのために出来ることをしたいと自ら志願、主務のポジションにつかせていただきました。その頃は主務にあたる人はいなかったの、先生にも相談しながら、自分なりに出来ることを考え、精一杯取り組もうと思いました。プレー時代は先輩から厳しい指導があり、辛いこともありましたが、そのときに視野を広げることを教わり、主務の

仕事では周囲への気配りを忘れず、同期や後輩との繋がりを大切にしています。そうした先輩からの学びや同期からの支え、後輩のフォローなどは、クラブ活動ならではの経験だと思います。

後輩や、これから入部する新入生のみなさん、厳しく辛い時期もあるかと思いますが、それらはいつか必ず、自分にプラスとなり返ってきます。常に自分の成長のためだと考え、日々努力し続けてください!



大学と地域とを繋ぎ
ますます盛り上げていく

Team Y.A.O. 代表

文学部 歴史文化学科 3回生
朽尾 晃広 トチオ アキヒロ



Team Y.A.O.とは、チーム ヤング アクティブ オオタニの略で、行政との連携(行政ボランティア)や地域貢献、他団体との連携、大学の活性化を主な活動としています。年に3~4回の大きなイベントに加え、地域のイベントにも参加。大学と行政とのコラボにより、地域を盛り上げる企画の立案、準備、運営を行っています。具体的には、子どもたちや高齢者向けに、ショッピングモールなどで防犯についての紙芝居をしたり、夏休み前の小学校で、休み中の過ごし方についての寸劇をしたり、ハロウィンイベントをやったりもします。ときにはTeam Y.A.O.以外の団体の力を借りることもあり、私たちの目標は、これら大学の各団体の活動範囲を拡げ、大学をより多くの人に知ってもら

うこと。その為にも、今まで以上にボランティアなどの活動を増やし、さらに、依頼された企画に参加するだけでなく、自分たちで企画して実行していくことで、ますます地域との繋がりを強くし、大学も地域も盛り上げていきたいと思っています。

Team Y.A.O.での活動は、行政(大人の人)と関わりを通じて社会人勉強にもなり、コミュニケーション力も身に付きます。

昨年まで10数名だったメンバーが今年一気に42名まで増え、新体制で戸惑うことも多いと思いますが、後輩や新入生のみなさんには、その大変さをやりがいと思って、盛り上げてほしいです。

学生レポート

未来の富田林をあなたと描く 市民会議 Mira-ton



教育学部教育学科
3回生

上田 佳澄

私はMira-tonに参加しました。Mira-tonとは、「未来の富田林をあなたと描く市民会議」の愛称です。富田林にはどんな資源や課題があるのかを富田林市民、職員、本学の学生とワークショップ形式で話し合いをするものです。私が市民会議に参加した理由は「大学のある富田林市の良い所を沢山知りたい」という思いです。私は3年間富田林市に通っていますが大学周辺の事は知りません。良い所を富田林市在住の方に直接聞くことによって新しい発見があると思ったからです。

Mira-tonには5つのテーマがあり、ファシリテーターを中心に話を進めます。1回20分で、毎回違うメンバーで話し合いをします。第3回からは4つのテーマの中で、自分がもっと考えたいことを決め話し合いを進めます。私が選んだテーマは「未来への希望を育む子育て・教育」です。私は教育を学んでいるので、これはこれから大切にしたい、改善すべきではないかと意見を交換しました。私はMira-tonに参加し、富田林市の幅広い年齢の方と意見を共有し、知らなかった事を沢山学びました。自分の素直な想いを言葉にすることで私自身が成長できたのではないかと思います。

学生レポート

日頃の成果や活動を披露! 南大阪地域等 大学合同展示発表会



教育学部教育学科
2回生

十川 紗依

平成29年9月16日
(土)、リニューアルオープンした堺市市民交流広場で、オープン記念イベントの一環として「南大阪地域等大学合同展示発表会」が開催されました。このイベントには、南大阪地域等に立地する9大学が参加し、各々の日ごろの研究成果や活動をブース展示やステージ発表を通して、披露しました。本学からは、漢方サークル「知源塾」・劇団ポリス・バントワリング部の3つの団体が参加しました。当日は、台風が近づいていて、あいにくの雨でしたが、それぞれベストを尽くしました!

私は、ステージでバトンパフォーマンスをしました。出番の時には雨が強くなり、足元の状態が悪くなかったので、中止と思いきや続行!私は2回も滑って転びました(笑)バトンが飛んでいったり音楽が止まったりとハプニングだらけでしたが、最後まで温かい手拍子や拍手をして下さって、何とか踊りきることができました!パフォーマンスについては反省点もたくさんありますが、雨の中での演技は初めての経験で楽しかったです。

このイベントを含め、今年はより多くのイベントに出演させていただいて、とても感謝しています。これからもイベントの盛り上げや地域活性に貢献できるよう、個々のスキルを上げ、一体となった演技を目指して頑張っていきます!

学生レポート

みんなで力をあわせて安全・安心まちづくり Team Y.A.O.委嘱状授与 富田林警察署防犯キャンペーンに参加!



文学部日本語日本文学科 2回生 山中 そよ

平成29年10月9日(月)、富田林市のエコール・ロゼで、「富田林警察署・全国地域安全大会」車上ねらい、ひったくり、特殊詐欺撲滅キャンペーン」が開催されました。本大会のスローガンは「みんなで力をあわせて安全・安心まちづくり」です。性犯罪被害の防止、ひったくり・路上強盗・自動車関連犯罪被害の防止、特殊詐欺被害の防止に重点をおき、学校・事業者・自治体・地域住民が一体となって防犯意識の向上を図り、安全・安心なまちづくりを目指すために開催されました。



本学からは、バントワリング部・吹奏楽部・劇団ポリス・Team Y.A.O. 防犯局の4団体が参加させていただきました。オープニングでは、バントワリング部のみなさんによる4曲のパフォーマンスで大盛り上がり。次に富田林警察署長からTeam Y.A.O. 防犯局へ「富田林警察署管内防犯ボランティア団体」としての委嘱状と腕章の授与式が行われ、その後特殊詐欺(オレオレ詐欺・架空請求詐欺)に関する紙芝居を披露させていただきました。最後は、吹奏楽部の素敵な演奏とともに、本大会は終了しました。

全学年・全教職員
参加OK!

バレーボール大会



開催日時: 平成29年 11月25日(土)
9:00~14:00

参加料: 1チーム1,000円

申込み: 学生課まで

主催: 大阪大谷大学 体育会

大阪大谷大学での初の取り組みでもある、学生、教職員参加OKの「バレーボール大会」を開催します!

体育会が大阪大谷大学をスポーツで盛り上げるため、この度実施にいたしました。豪華賞品もご用意しました!優勝目指し

只今準備真っ最中! 私達がスポーツ大会を運営しています! て頑張らしましょう! 詳しくは、学生課まで。

日本学生支援機構奨学金について

「スカラネット・パーソナル」 の登録を必ずしよう!

日本学生支援機構奨学金の貸与を受けている奨学生は全員「スカラネット・パーソナル」を必ず登録してください。登録しないと、

- ・奨学金継続手続きができない
- ・最新の自分の奨学金個人情報が見えなくなる。
- ・卒業後、返還に関する猶予制度や繰上返還などの申請に時間がかかる。
- ・住所変更や保証人や本人以外の連絡先の方々の変更手続きに時間がかかる。

などの不利益を被ることになります。まだ未登録の人は必ずすぐに登録してください。

「奨学金継続手続き」 を忘れずに!

12月になったら最終学年を除くすべての奨学生が「奨学金継続手続き」をしなければなりません。奨学金継続手続きに関する説明会に必ず出席し、手続書類を受け取って手続きしてください。

大阪大谷大学 博物館 入館無料

展示期間 平成29年
10月6日(金)~11月21日(火)
10:00~16:00

休館日 日曜日および10月14日(土)・11月4日(土)・
11月10日(金)・11月13日(月)
※ただし、10月9日(月・祝)および11月3日(金・祝)は開館

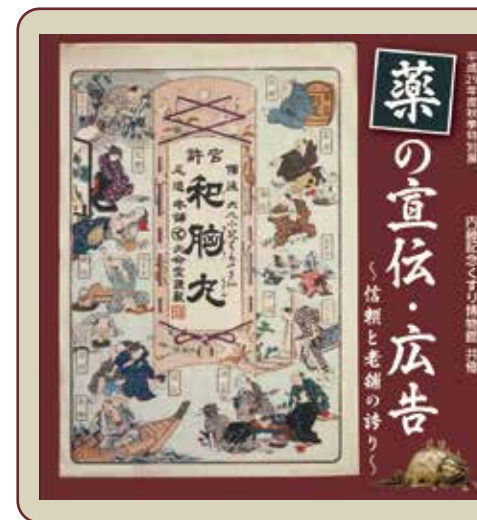
講演会

演題:くすりの歴史・内藤記念くすり博物館所蔵資料を中心に

講師:森田宏氏(内藤記念くすり博物館館長)

日時:10月21日(土)午後1時30分~午後3時(受付開始午後1時)

参加費:無料(申込み不要)





本郷奏多
~Talk Show~




日程 11月12日(日)
開場 13:00
開演 14:00
場所 講堂(18号館)

Pコード 637-044
チケット価格 500円 ※全席指定

ミサイルマンが司会!
カラオケ企画

大阪大谷大学生の歌うまちによる熱きバトル!
歌うま王は誰の手に!?

日程 11月11日(土)
時間 11:00~12:00
場所 玄関前ステージ



※雨天時は第一体育館となります。

防災企画
~巨大迷路で楽しく学ぼう!~

富田林市 市民会館 危機管理室 協力

日程 両日開催
時間 10:00~16:00
場所 志学館(4号館)1階



自衛隊車両
パジェロがやってくる!

日程 両日開催
時間 10:00~16:00
場所 志学館(4号館)前駐車場

まもるくんもやってくる!
CHALLENGE! 遠征隊の試着もあるよ!

マスケットキッズ
自衛隊大阪府地方本部 協力



お問合せは、学生課まで 発行日:2017年10月30日